

- 問1 幕末の開国にともなって外国との貿易が始まると、日本の国内経済には大きな変化が生じました。この時期、人々の生活が苦しくなった主な原因として正しい説明はどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 外国貨幣が大量に持ち込まれたことで日本の貨幣価値が極端に高まり、庶民が国内の物資を購入できなくなったため。 | 2. 生糸や茶などの生活関連品が大量に輸出されたことで国内が品不足となり、物価が急激に上昇したため。 | 3. 外国から安価な製品が大量に流入したことで国内の産業が衰退し、深刻な物価の下落が発生して失業者が増えたため。 | 4. 幕府が貿易を完全に独占して国内流通を制限したため、商品の流通がストップし、全国的な飢饉が発生したため。 |
|--|--|--|--|
- 問2 幕末から明治時代にかけて日本に駐在したイギリスの外交官で、卓越した日本語能力を活かして第15代将軍である徳川慶喜の通訳を務めたほか、日光の魅力を紹介するガイドブックを刊行するなど、日本の文化を海外に伝えた人物は誰ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|--------------|-------------|---------------|
| 1. フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト | 2. アーネスト・サトウ | 3. ハリー・パークス | 4. タウンゼント・ハリス |
|-------------------------|--------------|-------------|---------------|
- 問3 幕末の長州藩は、外国勢力を武力で排除しようとする「攘夷」を掲げていましたが、1864年にイギリス、フランス、アメリカ、オランダの四国艦隊による下関砲撃を受け、大敗を喫しました。この敗北が、その後の長州藩の行動にどのような影響を与えたか、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 攘夷の失敗は精神力の不足にあると考え、新式兵器の導入を拒否し、伝統的な武芸による防備の徹底をさらに進めた。 | 2. 幕府が推進する公武合体の政策を支持し、天皇の権威と幕府の力を結びつけることで鎖国体制を維持しようとした。 | 3. 欧米諸国との圧倒的な軍勢力の差を痛感し、攘夷から、海外の技術を導入して近代化を図ることで国家を強化する方針へと転換した。 | 4. 敗北の責任をすべて幕府に押し付け、軍事的な衝突を避けるために、諸外国に対して無条件での開国と幕府への臣従を誓った。 |
|--|---|---|--|
- 問4 1854年に江戸幕府がアメリカと日米和親条約を締結した際、燃料となる薪や水、食料などを供給するために開港が決まった港の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|----------|----------|----------|
| 1. 下田と函館（箱館） | 2. 横浜と神戸 | 3. 浦賀と館山 | 4. 長崎と新潟 |
|--------------|----------|----------|----------|
- 問5 1860年ごろ、日米修好通商条約などの締結によりアメリカやイギリスとの貿易が開始された結果、日本国内では激しい物価の上昇が起こり、人々の生活に大きな打撃を与えました。この背景として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本と海外との金銀の交換比率の違いから大量の金貨が海外へ流出し、さらに生糸などの生活必需品が輸出に回されて国内で品不足になったため。 | 2. 欧米諸国への対抗策として軍備を拡張するため、幕府が軍需品の生産を最優先し、民間向けの生活必需品の生産を制限したため。 | 3. 大規模な凶作によって米の収穫量が激減したことに加え、都市部の商人が米を売り惜しんだことで、全国で「米騒動」と呼ばれる暴動が発生したため。 | 4. 地主や商人が将来の値上がりを見越して米などの穀物を大量に買い占めたことで、市場に出回る食料が極端に不足し、価格が高騰したため。 |
|---|---|---|--|
- 問6 1854年、アメリカのペリーが再び来航した際に江戸幕府と締結され、下田と函館の2港を開くことを定めた条約の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 1. 日露和親条約 | 2. 日清修好条規 | 3. 日米和親条約 | 4. 日米修好通商条約 |
|-----------|-----------|-----------|-------------|
- 問7 幕末の動乱期における吉田松陰の活動と影響について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 異国船打払令などの幕府の对外政策を批判したことで、蛸社の獄において処罰された。 | 2. 薩摩藩と長州藩の間を仲介して薩長同盟を結ばせ、政権交代に向けた動きを支援した。 | 3. 長州藩で松下村塾を開き、後の明治維新で活躍する多くの人材を育てたが、安政の大獄で捕らえられて処分された。 | 4. 大坂町奉行所の元と力として貧しい人々を救うために拳兵したが、幕府軍によって鎮圧された。 |
|--|--|---|--|
- 問8 19世紀半ばに発生したインド大反乱の背景と、その後の影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. イギリスによる植民地支配への不満から大規模な抵抗が起き、反乱後、イギリスはインドを直接統治下に置いた。 | 2. アメリカの進出を警戒したイギリスが、日本や清と軍事同盟を結んでアジアの防衛体制を強化した。 | 3. オランダの貿易独占に反対する商人と農民が蜂起し、東南アジア全域に広がる大規模な内戦へと発展した。 | 4. フランスの軍事介入を退けるために現地の王族が団結して戦い、インドの完全な独立を勝ち取った。 |
|--|--|---|--|
- 問9 産業革命期の動力技術は、のちに交通手段の革新にもつながりました。蒸気機関を交通手段に応用した事例として、正しい人物と成果の組み合わせを選びなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|-------------------------|--------------------|----------------------|
| 1. ライト兄弟による有人動力飛行の成功 | 2. スティーブンソンによる蒸気機関車の実用化 | 3. エディソンによる電気鉄道の敷設 | 4. フォードによるガソリン自動車の量産 |
|----------------------|-------------------------|--------------------|----------------------|
- 問10 19世紀半ばのアメリカ合衆国では、奴隷制の拡大をめぐる自由貿易を主張する南部と、保護貿易を主張する北部の対立が激化し、南北戦争が始まりました。この戦争の最中に「奴隷解放宣言」を出し、国家の統一を維持しようとした大統領は誰ですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------|---------------|----------------|
| 1. トーマス・ジェファソン | 2. オリバー・クロムウェル | 3. ジョージ・ワシントン | 4. エイブラハム・リンカン |
|----------------|----------------|---------------|----------------|
- 問11 1867年のパリ万国博覧会において、江戸幕府だけでなく、薩摩藩や佐賀藩が独自の旗印を掲げて出品を行いました。このように、幕府以外の有力な藩が独立した動きを見せた背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 幕府の権威が低下し、有力な藩が独自に海外との交渉や近代化を進める政治的実力を持つようになっていた。 | 2. 幕府が全国の藩に門戸を開き、各藩の技術を海外に平等にアピールする「挙国一致」の政策を推進していた。 | 3. 欧米列強が幕府との通商を拒否し、地方の藩との直接取引のみを希望したため、藩の出展が義務付けられた。 | 4. 1860年に派遣された遣米使節団の報告により、すべての藩が条約締結権を持つことが法律で定められた。 |
|--|--|--|--|
- 問12 日本の歴史における朝廷と武家政権との関係について述べた次の4つの事象を、時期の古い順に並べたものとして正しい組み合わせはどれですか。
・後鳥羽上皇による倒幕の動きが失敗した後に京都に設置された「六波羅探題」
・足利義満が三代将軍のときに行った「南北朝の合一」
・徳川幕府が天皇や公家の行動を制限するために定めた「禁中並公家諸法度」
・倒幕派が天皇中心の新政府の成立を宣言した「王政復古の大号令」 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 六波羅探題 → 禁中並公家諸法度 → 南北朝の合一 → 王政復古の大号令 | 2. 南北朝の合一 → 六波羅探題 → 王政復古の大号令 → 禁中並公家諸法度 | 3. 禁中並公家諸法度 → 南北朝の合一 → 六波羅探題 → 王政復古の大号令 | 4. 六波羅探題 → 南北朝の合一 → 禁中並公家諸法度 → 王政復古の大号令 |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 生糸や茶などの生活関連品が大量に輸出されたことで国内が品不足となり、物価が急激に上昇したため。	開国後の貿易では、生糸や茶などが主要な輸出品となりましたが、これらが大量に海外へ流出したことで国内向けの物資が不足しました。また、金と銀の交換比率が内外で異なっていたことから大量の金が国外へ流出し、それに対応するために幕府が質の劣る貨幣を発行したことも、さらなる物価の上昇（インフレーション）を招く要因となりました。このように物資の不足と貨幣制度の混乱が重なったことで、庶民の生活は非常に苦しくなりました。
問2	答え 2 アーネスト・サトウ	アーネスト・サトウは、幕末の動乱期にイギリス公使館の通訳官として来日しました。彼は単なる通訳の枠を超え、徳川慶喜をはじめとする幕府の要人や、薩摩・長州といった有力諸藩の武士たちとも接触し、現地の情勢を本国に詳しく報告する重要な役割を担いました。また、日本文化への造詣も深く、日光の観光ガイドブックを執筆するなど、黎明期の日本観光や文化交流にも寄与しました。
問3	答え 3 欧米諸国との圧倒的な軍事力の差を痛感し、攘夷から、海外の技術を導入して近代化を図ることで国家を強化する方針へと転換した。	長州藩は四国艦隊下関砲撃事件を通じて、武力によって外国勢力を排除することの不可能性を認識しました。これを機に、藩の指導部は攘夷路線を転換し、かつての敵であったイギリスなどの欧米諸国から最新の武器や軍事技術を導入する道を選びました。この方針転換が、のちの薩長同盟や倒幕運動、そして明治維新へとつながる強力な軍事力の形成に直結しました。
問4	答え 1 下田と函館（箱館）	ペリーの来航を受けて結ばれた日米和親条約は、鎖国体制を終結させた条約です。この条約では、アメリカの船に薪水（燃料と水）や食料を補給することを目的として、静岡県伊豆半島に位置する下田と、北海道南部の函館（当時は箱館）の2港を開くことが決められました。選択肢にある横浜や新潟、神戸などは、その4年後に結ばれた日米修好通商条約によって開港が決められた場所です。
問5	答え 1 日本と海外との金銀の交換比率の違いから大量の金貨が海外へ流出し、さらに生糸などの生活必需品が輸出に回されて国内で品不足になったため。	幕末の開国後、日本と外国では金と銀の交換比率が異なっていたため、日本の金貨が大量に海外へ流出しました。幕府はこれに対処するために貨幣の質を落とした貨幣を大量に発行しましたが、これが貨幣価値の下落を招き、物価上昇に拍車をかけました。同時に、当時の主要な輸出品であった生糸などが大量に海外へ送られたことで、国内向けの供給が不足し、生活必需品の価格が急騰して庶民の生活を圧迫しました。
問6	答え 3 日米和親条約	ペリーによる軍事的な圧力を背景に、200年以上続いた「鎖国」政策を終結させるために結ばれました。この条約では貿易の許可までは含まれておらず、あくまで遭難船の救助や、アメリカ船に対して薪水（燃料）や食料を補給することを目的としていました。1858年に結ばれた、貿易の開始を目的とする日米修好通商条約との混同に注意が必要です。
問7	答え 3 長州藩で松下村塾を開き、後の明治維新で活躍する多くの人材を育てたが、安政の大獄で捕らえられて処分された。	吉田松陰は長州藩の私塾である松下村塾で指導を行い、幕末から明治時代にかけて活躍する志士を多数育成しました。しかし、井伊直弼による安政の大獄で捕らえられ処刑されました。大坂で挙兵したのは大塩平八郎、異国船打払令を批判して処分されたのは高野長英ら、薩長同盟を仲介したのは坂本龍馬です。
問8	答え 1 イギリスによる植民地支配への不満から大規模な抵抗が起き、反乱後、イギリスはインドを直接統治下に置いた。	インド大反乱は、イギリスの過酷な植民地支配に対する反発から、兵士だけでなく農民や旧来の支配層も巻き込んだ大規模な反乱となりました。この反乱を鎮圧した後、イギリスはそれまで統治を代行させていた東インド会社を解散させ、イギリス国王が直接インドを統治する形式（インド帝国）へと体制を強化しました。
問9	答え 2 スティーブンソンによる蒸気機関車の実用化	ワットが改良した蒸気機関は、工場の機械だけでなく輸送手段にも応用されました。イギリスのスティーブンソンが蒸気機関車を実用化し、鉄道網が整備されたことで、大量の物資や人間を高速で運ぶことが可能になり、経済の仕組みが大きく変化しました。
問10	答え 4 エイブラハム・リンカン	19世紀、工業化が進み奴隷制に反対する北部と、広大な農地での綿花栽培のために奴隷制を維持したい南部との間で南北戦争が勃発しました。リンカンは連邦の分裂を阻止するために戦い、1863年に奴隷解放宣言を行いました。これにより、戦争の目的が奴隷制廃止という人道的な大義名分を持つようになり、北部の勝利に大きく貢献しました。
問11	答え 1 幕府の権威が低下し、有力な藩が独自に海外との交渉や近代化を進める政治的実力を持つようになっていた。	幕末期、薩摩藩や長州藩などは幕府の統制を離れ、独自に海外からの武器購入や技術導入を強めていました。パリ万博では薩摩藩が幕府とは別に「日本薩摩太守政府」として出品するなど、幕府による日本統治が形骸化し、倒幕に向けた実力が蓄えられていた状況を示しています。
問12	答え 4 六波羅探題 → 南北朝の合一 → 禁中並公家諸法度 → 王政復古の大号令	六波羅探題は13世紀（1221年）の承久の乱の後に鎌倉幕府が朝廷の監視のために設置しました。南北朝の合一は14世紀末（1392年）に室町幕府の足利義満によって実現しました。禁中並公家諸法度は17世紀初（1615年）に江戸幕府が制定し、天皇の活動を制限しました。王政復古の大号令は19世紀（1867年）に発せられ、幕府を廃止して天皇中心の政治へと戻ることを宣言しました。